



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 平成 30 年 8 月 21 日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課
085-0805
釧路市黒金町 7 丁目 5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyouu/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

釧路森林資源活用円卓会議川上部会研修会を開催

～路網整備に関する研修会を開催しました～

【概要】

森林資源の循環利用を行っていく上で、森林施業の低コスト化は重要な課題となっており、機械化施業の他にも、価格と耐久性のバランスが取れている路網の整備を進めていくことが必要であると考えております。

そこで今回、円卓会議川上部会構成企業であります大澤木材株式会社の施工現場となる国有林地（パイロットフォレスト）において、路網整備に関する研修会を開催いたしました。

説明者の大澤社長が理想とする森林作業道について、現地確認を行いながら説明。道東地域の土壌に適した工法の選定、路網の耐久性向上や長寿命化など、円卓会議部会員や一般社団法人釧路地方林業会の会員と意見交換を行いました。

今後も釧路地域の林業業界のスキルアップにつながる取組を進めていきたいと思っております。

日 時 平成 30 年 8 月 20 日（月） 13:30～15:00

研修場所 パイロットフォレスト根釧西部森林管理署 201 林班

出席者 26 名

※川上部会員 7 名、川下部会員 1 名、地方林業会員 2 名、オブザーバ 11 名、事務局 5 名

【研修会風景】



<釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、平成 17 年の 3 市町合併により、森林面積は約 10 万 ha（全道の市で 1 位）。

まさに釧路市は「森林都市」。

「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を平成 22 年 11 月設置しました。

これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部農林課

（担当）渡辺 大樹

TEL : 0154-31-2552

FAX : 0154-31-2553



魚箱の活用(アイヌアート)



魚箱の活用(エステー)



木彫り熊トロフィー



書道展表彰記念品



地産地消PR看板



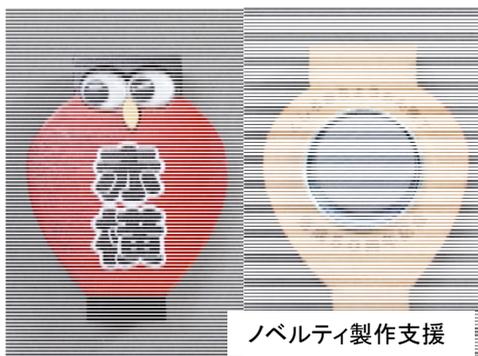
木工作ワークショップ



スマホスタンド



釘を使わない本立て



ノベルティ製作支援



記念品製作支援



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 平成 31 年 2 月 6 日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課
085-0805
釧路市黒金町 7 丁目 5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyoutu/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

WOOD コレクション (モクコレ) 2019 に出展

～日本各地の地域材を活用した木材製品展示会

【概要】

日本各地の地域材を活用した建材や家具などの木材製品展示会「WOOD コレクション 2019」に釧路森林資源活用円卓会議が出展しました。

- 日 時 平成 31 年 1 月 29 日 (火) 10:00～17:30
平成 31 年 1 月 30 日 (火) 10:00～16:30
- 場 所 東京ビッグサイト東 7・8 ホール (東京都江東区有明 3-10-1)
- 主 催 WOOD コレクション (モクコレ) 2019 実行委員会
- 出 展 40 都道府県

「国産材が育む日本の未来」をテーマに本展示会が開催され、釧路地域からは「丸善木材(株)」「札幌ベニヤ(株)」「エステー(株)」と共に北海道ブースへ出展しました。各種家具やネームプレート等の木製品、また(株)北都にて釧路産トマトの枝葉から抽出した精油を使用しているクリアフォレスト商品などを展示。全国各地から集まった来場者は約 4,500 名と多くの方々に釧路の製品を PR することが出来ました。今後も域外へ釧路の森林・木材・木製品の良さを発信していきたいと思えます。



<釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、平成 17 年の 3 市町合併により、森林面積は約 10 万 ha (全道の市で 1 位)。まさに釧路市は「森林都市」。

「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を平成 22 年 11 月設置しました。

これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部農林課

(担当) 渡辺 大樹

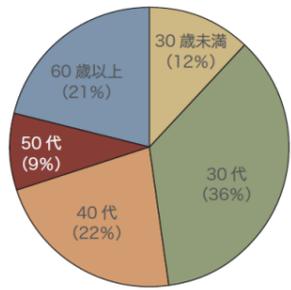
TEL : 0154-31-2552

FAX : 0154-31-2553

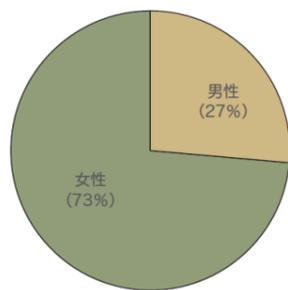
来場者アンケート結果

(前回H26.10.25・26開催時、来場者数：2,288名)

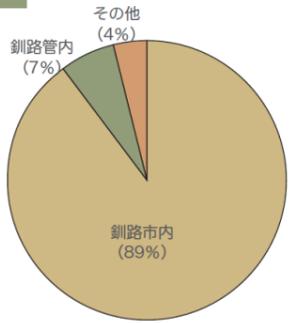
1 あなたの年齢は？



2 あなたの性別は？



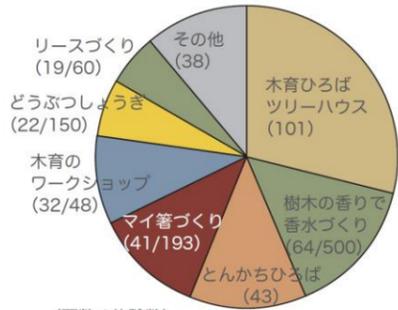
3 お住まいは？



会場全体の雰囲気として、乳幼児から小学生のお子様とその家族という構成が多く、アンケート結果もその傾向が見られました。体験イベントの参加者など、その多くは女性でした。また、来場者のほとんどが釧路市内からであることがわかりました。

4 面白いもの・興味をひかれたものは？

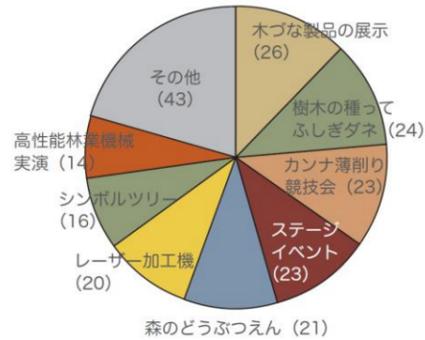
体験関係



(票数 / 体験数)
※体験数が無制限のものは記載しない

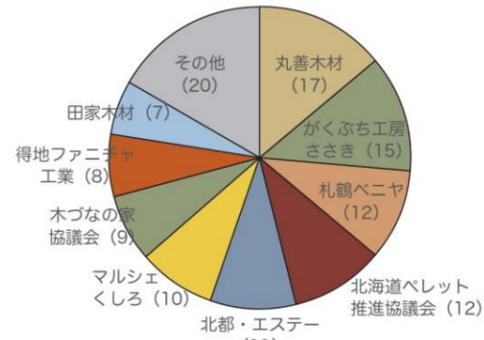
体験数が多い・無制限のものは票数も多い。「木育のWS」や「リースづくり」は体験数と比較して票数が多い。アンケートには材料不足に対する記載も見られました。

展示・実演関係



説明者が常駐し特徴のある展示・実演の票数が多い。「ステージイベント」や「高性能林業機械」など時間制も健闘。「森のどうぶつえん」は意外性でしょうか。

企業関係



ブースが特徴的な「がくぶち工房 ささき」のほか、製造工程などの写真を掲示し、商品プレゼンを積極的に行った企業が、来場者の支持を集めました。

<自由記載欄> 木のことや林業のことが色々わかって良かった (30歳未満男性)、金づちで自由に作品を作るのに、子どもが夢中になって良かった (30代女性)、木のおもちゃの物販があれば良かった (30代女性)、初めてだったけれどとても楽しかった。子どもぬきでもう一度来たいぐらいです (40代女性)、ツリー型アクセサリーのディスプレイ品がとても可愛らしかった (40代女性)、カンナ薄削りの学生さんが頑張っていて素晴らしい (40代男性)、今は機械だけでトドマツを切断するのに驚き (60歳以上男性)

釧路地域の林業・木材産業のすべてがここに集結

資料4

釧路森林資源活用円卓会議 10周年記念

くしろ「木づな」フェスティバル

会期

2019年

11月9日(土)・10日(日)

会場

釧路市観光国際交流センター 全館
(釧路市幸町3-3)



写真：平成26年の開催案内チラシ



ご出展・ご協賛・ご後援についてご検討をよろしく申し上げます

【お問合せ】
くしろ木づなフェスティバル
実行委員会

釧路森林資源活用円卓会議事務局：釧路市
〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地
[農林課] … TEL 0154-31-2552・FAX 31-2553 (担当：渡辺)
[産業推進室] … TEL 0154-31-4550・FAX 22-8972 (担当：仲澤)

～ 開催のご案内 ～

出展案内 … 4月下旬ごろを予定しています。
主催 … くしろ木づなフェスティバル実行委員会
(釧路市、釧路森林資源活用円卓会議)

来場見込 4,000 人

大ホール・アトリウムのほか、屋外イベント広場を活用

様々な催事を企画・検討中です

シンボルツリー、モクレンガパネルのステージ



木製遊具



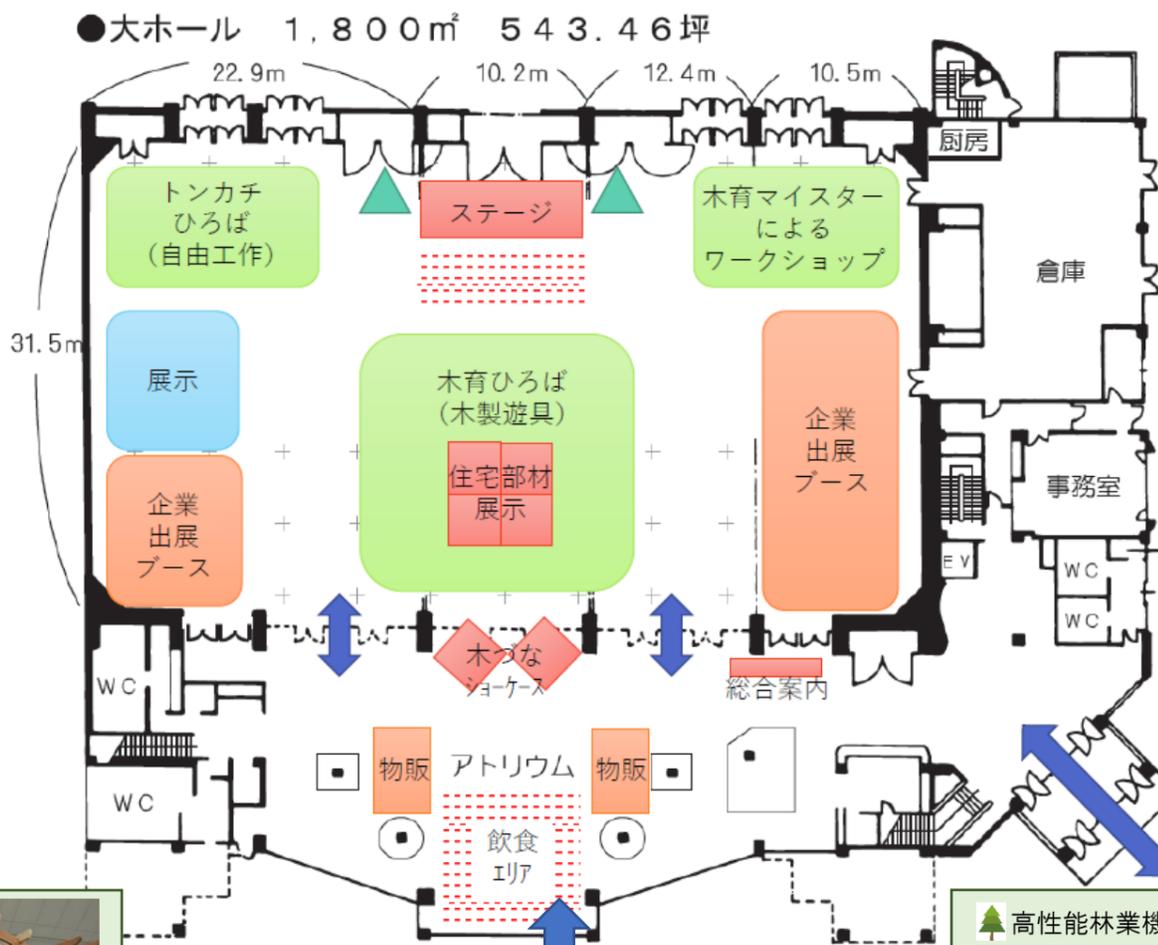
トンカチひろば



カンナ薄削り競技会



企業出展ブース
飲食物販 など



木育マスターによるワークショップ



住宅部材展示



高性能林業機械のデモンストレーション



●屋外イベント会場
林業機械展示、チェーンソーアート実演、
薪割り・焚火・ストーブ展示、飲食屋台など

※写真は H26 年開催時のものです。

■開催概要
【テーマ】 くしろに広がるみんなの森林 ～すごいぜ「木づな」10周年～
【会期】 2019年11月9日(土)～10日(日) 10:30-16:00 (最終日のみ15:00まで)
【会場】 釧路市観光国際交流センター(釧路市幸町3-3)
【主催】 くしろ「木づな」フェスティバル実行委員会(釧路森林資源活用円卓会議、釧路市)

■開催趣旨
釧路市有林をはじめとした市内の森林資源の活用策を検討するため、釧路の林業・木材産業関係者、工務店、設計士、エンドユーザー、研究者、行政など、木材供給側から需要側までの幅広い関係者による「釧路森林資源活用円卓会議」が平成22年に組織され、今年で10年目を迎えます。
その間、国では、国民一人一人が等しく負担を分かち合って森林を支える仕組みとして「森林環境税」が創設され、間伐などの森林整備や人材育成・担い手の確保、木材利用の拡大が一層推進されるものと期待されています。
そして、私たちはこれまで、円卓会議での議論をもとに、「くしろ木づなプロジェクト」を展開し、「地域内での、地域の木材消費向上」を目指した様々な取り組みをしてきました。
今回、その取組の一環として「くしろ木づなフェスティバル」を開催することで、釧路の皆様、釧路の森林と木材のこれまでを知って頂くとともに、木を通じた未来を共に創造していきたいと考えています。

※参考 平成26年開催時の出展企業・団体一覧
【後援】 北海道釧路総合振興局、北海道森林管理局根釧西部森林管理署、公益財団法人釧路根室圏産業技術振興センター、釧路市教育委員会、FMくしろ、北海道新聞釧路支社、釧路新聞社
【協賛団体】 厚岸木材工業協同組合、音別林産振興会、釧路建材協会、(一社)釧路建設業協会、釧路市建設業協会、釧路建具家具生産協同組合、(一社)釧路地方建築協会、釧路地区森林組合振興会、釧路地区製材経営協議会、(一社)釧路地方林業会、厚浜木材加工協同組合、地産地消くしろネットワーク、東北海道木材協会、北海道木材産業協同組合連合会、北海道木材利用推進協議会、北海道木質構造開発協議会
【協賛企業】 (株)イチムラ、エステー(株)、大澤木材(株)、近藤林業(株)、札鶴ベニヤ(株)、田家木材(株)、(有)谷口種苗農園、土井木材(株)、(株)中嶋木材、(株)北都、藤田印刷(株)、丸善木材(株)、雄別林業(株)
【出展企業・団体】 阿寒木材工芸(株)、エステー(株)、大澤木材(株)、かくぶち工房ささき、釧路観光工芸、釧路工業技術センター、道立釧路高等技術専門学院、釧路市、釧路湿原森林ふれあい推進センター、釧路建具家具生産協同組合、釧路地区製材経営協議会、根釧西部森林管理署、札鶴ベニヤ(株)、しまや染色(有)、くしろ西森林組合、くしろ・ねむる「木づな」の家協議会、田家木材(株)、T-クラフト、得地ファニチャ工業(株)、(株)北都、北海道釧路総合振興局、北海道木質ペレット推進協議会、北海道林業・木材産業対策協議会、マルシェくしろ、丸善木材(株)、木育マスター、(地独)道総研森林研究本部林業試験場、就労継続支援B型施設ワークセンター音別

2019年度(平成31年度)事業イベント等実施スケジュール

2019年度(平成31年度)事業計画【資料5】

月日	取組内容	場所	※備考
4月	上旬		
	中旬	円卓会議総会	
	下旬	木のおもちゃで遊ぼう！	釧路こども遊学館 主催：釧路遊学館
5月	上旬		
	中旬	木づなフェスティバル出展案内・その他準備対応	
	下旬		
6月	上旬		
	中旬		
	下旬		
7月	上旬	木づなフェスティバル実行委員会③	
	中旬		
	下旬	大人の木育教室	
8月	上旬		
	中旬	釧路合同企業説明会	釧路プリンスホテル 主催：釧路市地域雇用創造協議会 共同出展：担い手協議会
	下旬	木づなフェスティバル実行委員会④	
9月	上旬		
	中旬		
	下旬		
10月	上旬	木づなフェスティバル実行委員会⑤	
	中旬		
	下旬	くしろ安心住まいフェア 木育・森づくりフェア	釧路こども遊学館 イオンモール釧路昭和 主催：釧路総合振興局 主催：釧路町村会等
11月	上旬	くしろ木づなフェスティバル	釧路市観光国際交流センター
	中旬		
	下旬		
12月	上旬	じもと×しごと発見フェア	国際交流センター 主催：北海道 共同出展：担い手協議会
	中旬	WOODコレクション(モクコレ)2020	東京都 主催：WOODコレクション(モクコレ)実行委員会
	下旬		
1月	上旬		
	中旬		
	下旬	KJCランド 釧路合同企業説明会	釧路短期大学 釧路プリンスホテル 主催：釧路短期大学 主催：釧路市地域雇用創造協議会 共同出展：担い手協議会
2月	上旬	大人の木育教室	
	中旬		
	下旬		
3月	上旬		
	中旬	新規高等学校卒業予定者等企業説明会	国際交流センター 主催：教育局等 共同出展：担い手協議会
	下旬		

「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」 2019年(平成31年)4月1日施行
(2019年税制改正大綱資料より)

(1) 森林環境税の創設

① 基本的な仕組み

イ 納税義務者等

森林環境税は、国内に住所を有する個人に対して課する国税とする。

ロ 税率

森林環境税の税率は、年額 1,000 円とする。

ハ 賦課徴収

森林環境税の賦課徴収は、市町村において、個人住民税と併せて行うこととする。

ニ 国への払込み

市町村は、森林環境税として納付又は納入された額を都道府県を經由して国の交付税及び譲与税配付金特別会計に払い込むこととする。

② 施行期日

森林環境税は、2024年度(平成36年度)から課税する。

③ その他

個人住民税に準じて非課税の範囲、減免、納付・納入、罰則等に関する所要の措置を講ずる。

(2) 森林環境譲与税の創設

① 基本的な仕組み

イ 森林環境譲与税

森林環境譲与税は、森林環境税の収入額に相当する額とし、市町村及び都道府県に対して譲与する。

ロ 譲与基準

○森林環境税及び森林環境譲与税額

国の森林環境税の総額はおよそ600億円。次の配分要素を基に、都道府県及び市町村に譲与される。

市町村及び都道府県への配分要素

- 私有林人工林面積 50% (林野率 85%以上は 1.5 倍 75%以上は 1.3 倍)
※釧路市 74%
- 林業就業者数 20%
- 人口 30%

○釧路市の取組

（基金の設置）

- ・複数年度分の譲与税をまとめて執行することができる。
- ・事業準備等の手続き上単年度で執行できない。

といったことが想定されるため、市において基金を設置し、譲与税を受け入れる。

⇒2019年4月1日基金設置

（使途の設計）

「譲与税は補助金と異なり市町村に一定の使途の裁量はあるが、法令で定める目的財源であるため、法令の定める範囲で適切に執行される必要」

また、使途については公表の義務がある。（決算の公表）

【森林整備に係る費用】

・新たな森林管理システム（所有者に代わって行う間伐・路網整備・間伐以外の山林整備・それらに伴う意向調査や境界確定）に係る費用

【森林整備の促進に係る費用】

- ・人材育成、担い手の確保（市町村や林業事業者職員等の研修・林業就業者向け研修・安全装備への支援）
- ・木材利用の促進や普及啓発（公共建築物への木材利用・森林環境教育・木育・植樹活動）

※地方財政措置がなされている事業の義務負担分は認められない（市有林整備）

※市独自の上乗せ補助は事業量を確実に増加させる場合のみ可、既存事業の置き換えは不可

※譲与税の使途については会計検査の対象

2019年度の釧路市の主な取組内容 （対象予算 17,044 千円）

- ・民有林整備に対する支援、路網整備に対する支援
- ・新たな森林管理制度（森林経営管理法）の実施に伴う森林所有者への意向調査
- ・木材利用促進・普及啓発への取組に対する支援